



食育通信8月号

毎月19日は「食育の日」です。食育の話題に触れることにより、より食育に親しみましょう。

今月のテーマは…

『生ごみリサイクルがエコでお得』

毎日家庭から出される「生ごみ」を堆肥にすると、無農薬の安全で安心な、おいしい野菜づくりやガーデニングに利用できます。堆肥化には色んな方法があります。中でも、電動式生ごみ処理機には補助金があります。生ごみを減らすことで、ごみの量も減り、指定袋も家庭用（大）や（小）を使っていたけれど、（特小）でよくなるかも！？

微生物の力で生ごみが肥料に変身！



種類	処理内容	市の補助
 電動式生ごみ処理機	室内に設置。生ごみの水分をよく切って機械へ入れると、機械が処理。乾燥させた後、土に混ぜて熟成させる。	購入費の1/2を補助。 （補助額の上限20,000円） お申込みは資源循環推進課へ。
 コンポスト容器	容器を畑や庭に設置し、生ごみに乾いた土や、落ち葉、草、剪定チップなどを混ぜ、微生物の力で生ごみを分解する。	家庭用（大）30ℓ／35円 （小）18ℓ／20円 生ごみを減らすと、（大）だったのが、（特小）でよくなっちゃう！！ 家庭用（特小）8ℓ／8円 好評発売中！
 大地コンポストプランター方式	畑やプランターに直接生ごみを混ぜ、土の中の微生物の力で分解する。	
 段ボールコンポスト	段ボール箱にピートモス（※1）、もみ殻くん炭（※2）を入れたものに生ごみを混ぜ、微生物の力で分解する。 ※1 コケ類を原料に加工された土 ※2 もみ殻を低温でいぶし、炭化させたもの	

購入費補助の詳細やコンポストの使い方（動画）については、[久留米市公式ホームページ](#)へ

お問合せは、久留米市環境部資源循環推進課（TEL0942-30-9143）まで

食育通信は、食育の日 に久留米市ホームページ、久留米市公式LINEにおいて発信します。

食育関連イベント情報は、[久留米公式ホームページ『食育通信・食育イベント』](#)のページをご覧ください。

来月9月号の特集は「まずは毎日、あと一皿ずつ野菜と果物をプラス」です。お楽しみに。